

会 告

「鉄と鋼」寄稿規程改訂についてのお知らせ

本会編集委員会では、講演大会の講演概要集のオフセット印刷への変更に伴い、会誌の編集につき会員各位に少しでもご満足いただけるようあらゆる角度から慎重に検討を重ねておりますが、今回別記のごとく「寄稿規程」を改訂し、本誌掲載時をもって実施することになりました。

新規程では 1) 論文は講演発表と関係なく随時投稿することができます。また、2) 従来掲載の少なかつた現場技術およびこれに関連する諸技術の成果を発表できるよう技術報告欄を設けました。このほか研究速報、寄書、誌上討論についても任意に投稿することができます。

会員各位には「寄稿規程」ならびに「解説」をご覧のうえ奮ってご寄稿下さるようご案内申し上げます。

なお会誌「鉄と鋼」には会員からの寄稿原稿による編集のほか、技術資料、展望、解説などの記事を広い範囲に依頼し、内容の豊富かつ充実した編集を行なう方針であります。各位の一層のご協力をお願いいたします。

「鉄と鋼」寄稿規程

〔寄稿規程解説〕

1) 論文は講演発表とは関係なく随時投稿することができます。

編集委員会としましては、投稿論文はその内容から大別して (I) 一連の研究成果をまとめた総合的な性格をもった論文と (II) 速報的性格をもった論文 (従来の講演論文よりも内容の充実したもの) との 2 つの性格のものが投稿されることを期待します。原稿枚数の制限について特に規定を設けませんが、投稿者の自主的な判断によって、上記のいずれかの性格のものにできるだけ簡潔にまとめて投稿して下さい。査読の結果、その内容についての修正、削除、加筆などを必要とする場合は編集委員会より折り返し連絡します。

2) 技術報告は工業的に貢献する鉄鋼製造技術およびこれに関連する諸技術の成果の報告を希望します。

3) 研究速報は発表期日の優先性を必要とする著者の独創的研究成果を発表する欄とします。

4) 寄書は会員はもちろん非会員も含め各分野の方々から投稿いただき、相互の意見交換などの場とします。

5) 誌上討論は掲載された「論文」「技術報告」「研究速報」に対する討論で、会員からの自主投稿と編集者の意志の入ったものとの 2 本立てとします。

寄 稿 規 程

1) 本会会員は、会誌「鉄と鋼」に「寄稿区分」に示す原稿を投稿することができる。ただし、寄書は非会員も投稿することができる。

2) 原稿は、会誌に掲載する前に他の学協会誌およびそれに類する刊行物に発表されないものに限る。

3) 原稿は鉄鋼の学術ならびに技術の発展に寄与するものでなければならない。

4) 原稿は簡潔、正確であり、内容を容易に理解できるものでなければならない。

5) 原稿の執筆は「執筆要領」に基づくものとする。

6) 原稿の受理年月日は、原稿が本会に到着した日とする。

7) 原稿は編集委員会において審査し、掲載の可否を決定する。また審査の結果、修正、加筆、削除などのために原稿を返却することがある。その場合、編集委員会の指定した返却日を過ぎて再提出されたものについては、新規投稿とみなす。

寄 稿 区 分

| 原稿区分 | 原 稿 内 容 | 原 稿 制 限 | 欧文要旨 |
|------|---|--|-------------------|
| 論 文 | 著者の独創になる学術および技術の成果を記述したもの | | 200 語以内 (和文添付) |
| 技術報告 | 鉄鋼の製造技術, 設備技術, 管理技術および鉄鋼の材料技術などの成果を記述したもの | 表, 図, 写真を含め 26 枚 (400 字詰) 以内とする ただし, 依頼報告はこの限りでない | 200 語以内 (和文添付) |
| 研究速報 | 著者の独創的研究成果で, 発表期日の優先性を必要とするものであり, その理由を明確にした小論文 | 表, 図, 写真を含め 8 枚以内とする | 200 語以内 (和文添付) |
| 寄 書 | 著者の独創的研究成果のほか, 鉄鋼に関する学術または技術についての意見あるいは提案などを編集者に対する通信の形で述べる | 表, 図, 写真を含め 4 枚以内とする 図, 写真は合わせて 2 枚以内とする | |
| 誌上討論 | 会誌「鉄と鋼」に掲載された論文, 技術報告, 研究速報に対する修正意見, 例証, 反証などを記述する | 表, 図, 写真を含め 3 枚以内とする | |

執 筆 要 領

- 1) 原稿投稿の際には, 本会所定の原稿表紙および原稿用紙 (横書き・25 字×16 桁=400 字・30 枚綴・定価@30 円・千@35 円) を用いる。
原稿の表紙には所定の事項を正確に記入し, 原稿は左横書きとする。
- 2) 「寄稿区分」に示す原稿のページ制限を厳守すること。ただし英文, 和文要旨は原稿枚数に入れない。
会誌の刷り上り 1 ページは原稿用紙 5.5 枚にあたる。
- 3) 文章は平易な口語体を用い, 漢字は特殊な専門用語のほかは当用漢字を用い, かなは新かなづかい (第 4 表例参照) による。
周知でない術語や装置などについてはわかりやすく説明する。
- 4) 文章を読みやすくするため, 句読点 (,) および終止点 (.) を適当につける。
- 5) 章, 節, 項, 小見出の記号は原則として下記の要領にしたがって表記する。

| | | | |
|-----|-------|-------|-------|
| 章 | 1 | 2 | 3 |
| 節 | 1.1 | 1.2 | 1.3 |
| 項 | 1.1.1 | 1.1.2 | 1.1.3 |
| 小見出 | (1) | (2) | (3) |
- 6) 単位は原則として CGS 単位系を用いるが, 電磁気量の場合には, MKS 単位系を用いてよい。
単位の略記号は第 1 表の例に従う。周知でない単位には略記号を用いない。
- 7) 外国語の固有名詞および訳語が確定していない外国語の術語は原則として原語で書くが, 周知のものはカタカナ書とする。
なお必要な場合は原語を書き添える。
元素名, 合金名, 化合物名はできるだけ化学記号によつて示すが, 周知の合金名, 化合物名は化学記号表示を行なう必要はない。(第 2 表参照)
- 8) 英字, 数字, ギリシア文字, 上ツキおよび下ツキ添字はていねいに記し, 混同しやすい文字はとくに注意して書く。英文の大文字, 小文字, ギリシア文字で混同しやすい文字にはとくに赤字でⓈ, Ⓣ, Ⓤなどと傍記する。ゴシック, イタリックを指定するときには, その文字の下にそれぞれ——, ~~~~を付ける。

- 9) 数式は印刷に便利なように注意し、 b/a 、 $(a+b)/c$ のように不明確にならない程度になるべく少ない行数で表わす。
- 10) 表は本文中に挿入すること。1つの表の大きさは、会誌1ページの面積を考慮し、横の刷り上り寸法 6.7cm または14cm、縦の刷り上り寸法 18cm 以内におさまるようにする。
- 11) 図・写真・表の説明は英文とし(技術資料、講義、講演、解説はこの限りでない)、日本語を解さない外国人にも図・写真・表の意味が理解できる程度に書く。
写真にはかならず倍率を記入する。
- 12) 図および写真は、横の刷り上り寸法が下記のいずれかの寸法となるように、刷り上り寸法の 2~3 倍大とし、下記の縮尺記号を記入する。
(イ) 横 6.7cm (縮尺A) (ロ) 横 14cm (縮尺B)
縦の刷り上り寸法は 18cm 以内とする。
図・写真の字数換算は刷り上り寸法縦 7cm の場合、縮尺Aは 500 字に相当し、縮尺Bは 1000 字に相当する。
図は白紙、オイルペーパーまたは青色方眼紙を用いて書き、図および図中の文字は縮尺を考慮して十分な大きさおよび間隔をもつて正確に書く。
- 13) 図および写真は散逸を防ぐため、原稿用紙または適当な大きさの台紙に貼付し、右下隅に著者名を記入する。
図・写真は原稿本文中に挿入せず別紙とし、原稿中には右欄外にその挿入箇所を記入する。
- 14) 参考文献は、通し番号を付け、本文の最後一括して番号順に示し、本文中における文献引用箇所にはその文献の番号を上ツキ小数字¹⁾で示す。
参考文献は 著者名: 雑誌名, 巻数(発行年)号数, ページ数の順に記載する。
(例) R. K. GLASS: Blast Furn. Steel Pl., 46 (1958) 2, p. 198~204 雑誌名は第3表の略記例に従う。
単行書は 著者名: 書名, (発行年), ページ数, [出版社名]の順に記載する。
- 15) 掲載原稿については別刷 20 部を贈呈, 20 部を超え別刷を希望するときは超過分を所定の料金で作製する。

第1表 単位およびその記号の例

| 量 | 単位の名称 | 単位記号 | 量 | 単位の名称 | 単位記号 |
|----------------|---|---|-------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 角 度 | ラジアン 度 分 秒 | rad°''' | 工 率 | キロワット ワット エルグ毎秒 英馬力 | kW W erg/sec P |
| 長 さ | キロメートル メートル センチメートル ミリメートル ミクロン オングストローム キロX線単位 | km m cm mm μ Å kX | 温 度 | セ氏温度 絶対温度 |°C°K |
| 面 積 | 平方メートル 平方センチメートル 平方ミリメートル | m ² cm ² mm ² | 熱 量 | ジュール キロカロリー カロリー | Joule, (J) kcal cal |
| 体 積 | 立方メートル 立方センチメートル 立方ミリメートル キリットル リットル ミリリットル | m ³ cm ³ , cc m ³ kl l ml | 熱伝導度 | カロリー毎秒センチメートル度 | cal/(sec. cm. deg) |
| 時 間 | 年 日 時 分 秒 | year(年) day(日) hr min sec | 比 熱 | ジュール毎キログラム度 カロリー毎グラム度 | Joule/ (kg·deg) cal/g·deg |
| 毎分回転数 | 回毎分 | rpm | 熱容量 | ジュール毎度 | Joule/deg |
| 速 度 | キロメートル毎時 センチメートル毎秒 メートル毎分 | km/hr cm/sec m/min | 電 流 | アンペア ミリアンペア | A mA |
| 加 速 度 | センチメートル毎秒毎秒 | cm/sec ² | 電流密度 | アンペア毎平方メートル | A/m ² |
| 周 波 数 振 動 数 | サイクル毎秒 キロサイクル毎秒 メガサイクル毎秒 | c/sec kc/sec MC/sec | 電界の強さ | ボルト毎メートル | V/m |
| 質 量 | トン キログラム グラム ミリグラム | t kg g mg | 電 圧 起 電力 | キロボルト ボルト ミリボルト | kV V mV |
| 密 度 | グラム毎立方センチメートル | g/cm ³ | 電気容量 | ファラッド | Farad, (F) |
| 力 | ニュートン ダイナ 重量キログラム | N dyn kgw | 電気抵抗 | オーム マイクロオーム | Ω μΩ |
| 応 力 圧 力 | キログラム毎平方ミリメートル グラム毎平方センチメートル バー ミリバー 気圧 水銀柱ミリメートル | kg/mm ² g/cm ² bar mbar atm mmHg | コンダク タンス | モ | σ |
| エネルギー 仕 事 | ジュール エルグ 重量キログラム・メートル キロワット時 | Joule erg kgm kWh | インダク タンス | ヘンリー | Henry, (H) |
| | | | 電 力 | キロワット ワット | kW W |
| | | | 磁界の強さ | エルステット アンペア毎メートル | Oe A/m |
| | | | 磁 束 | ウェーバ マックスウェル | Wb Maxwell, (M) |
| | | | 磁束密度 | ウェーバ毎平方メートル ガウス キロガウス | Wb/m ² G kG |
| | | | 組 成 | 容量パーセント 重量パーセント 原子パーセント | vol% wt%, % at% |
| | | | モル濃度 | モル毎リットル | mol/l |

第2表 論文中の術語の書き方例

1) 表題に用いる術語は不明瞭な省略語は用いない。

たとえば“……………脱酸，脱硫作用……………”とし，“……………脱O，脱S……………”は不可

2) 本文にて最初に述べる術語は，内容の十分理解できる親切な表現を用いること。

たとえば“……………生じた Hercynite($FeO \cdot Al_2O_3$)は……………”

“平衡定数 K ，Gibbs の自由エネルギー G は……………”

“マグネタイト (Fe_3O_4) を N_2 を含む CO で還元した結果， Fe_3O_4 は……………”

“シリカ・カプセルをかぶせた低炭素鋼板を管状炉内で加熱したが，ほとんど脱炭しなかった。”

3) 本文にて繰返し用いる場合は化学記号，その他のすでに認められた省略記述でよい。

たとえば溶鋼中の成分（無限稀釈液標準の場合）は C ， O で表わし

“ ” “ ” （純液規準の場合）は $[Ni]$ ， $[Fe]$ など表わす

また，たとえば，文中に「オーステナイト」の語が多数出てくるときは，その最初のところで「オーステナイト(γ)」として以下「 γ 」を用いてよい。

4) 学術技術の進歩とともに日本語訳では十分表現できない言葉が次第に増してきているから，下記の例のようにカナ書きとして術語を表わす。しかし意味のピッタリした簡明な日本語訳のある場合は慣用に従つてなるべく日本語を書くことを原則とする。次に例を示す。

i) カナ書きが妥当と思われるもの

ガス，エネルギー，プロパン

リムド鋼，キルド鋼

ポテンシャル

窒化アルミニウム AlN

ニオブ，タンタル

グラファイト

(エレクトロンプロブ) X線マイクロアナライザー

ベアリング，または軸受

オーステナイト，フェライト，ベイナイト，インゴット，

ピレット，フープ，パス，スケール，ステンレス

鋼，クリープ，プレス，ロール，ブルーム，ブローホ

ール，キャンパー，カーボメーター，セメントイト，

板のクラウン，フェロアロイ，フランジ，ガイド，ジ

ョミニー試験，マクロ腐食，マンドレル，マルテンパ

ー，マルテンサイト，ノッチ，オーバル，ポリゴナイ

ズ，スクラップ，セミキルド鋼，シャー，スラブ，ス

ラッグ，ストリップ，タンデムミル，ピッカース硬さ

(硬度計)

備

考

日本語になりきつている

慣用の期間が長く，ピッタリしたよい訳がない

ピッタリした日本語訳がなく慣用している

窒化アルミの形は用いない

または Nb ， Ta (通常 Cb は用いない)

または黒鉛

略記としては $EPMA$ ， XMA などが慣用

“メタル”は不可 (混同しやすい)

鉄冶金慣用語の例

ii) 原語を一度書き添えることが妥当だと思われるもの

フォーミング (foaming)

フォーミングは forming もあり混同することもある

パージング (purging)

フラッターリング (fluttering)

日本語に十分慣用されていない

スカルピング (scalping)

iii) 省略的記述の例

78Ni-22Fe 合金

Ni-Cr-Mo 肌焼鋼

Ferro-Si-Zr

5% nital, picral など

JIS-SUS 31

U.S. Pat. 1,932,566

Hb 100, Hrc 50

HNO_3 (5%)

18-8 ステンレス鋼の場合は慣用によつて Cr ， Ni 省略

フェロアロイの場合を表わす

化学記号表示の必要はない

AISI, DIN, En その他同様

米国の慣例による

ブリネル，ロックウェル C 硬度値

分析の場合など“硝酸水溶液”に慣用

第3表 文献略記例

| 雜誌名 | 略記 | 雜誌名 | 略記 |
|---|---|---|-----------------------------|
| Acta Crystallographica | Acta Cryst. | Engineering | Engineering |
| Acta Metallurgica | Acta Met. | Fizika Metallov i Metallouedenic | Fizika Metall. |
| Advancement of Science | Advancement Sci. | Foundry | Foundry |
| Advances in Physics | Advan. Phys. | Foundry Trade Journal | Fndry. Trade J. |
| Aluminium | Aluminium | Fortschritte der Physik | Fortschritte Physik |
| American Foundrymen's Society, Preprint | Amer. Found. Soc. Preprint | Giesserei | Giesserei |
| American Institute of Mining, Metallurgical and Petroleum Engineers | AIME | Giessereitechnik | Giessereitechnik |
| Blast Furnace, Coke Oven & Raw Materials Committee, Proceedings | Blast. Furn. Coke Oven & Raw Mat. Comm. Proc. | Handbuch der Physik | Handb. Physik |
| Electric Furnace Steel Conference, Proceedings | Elec. Furn. Steel Conf. Proc. | Industrial Chemist | Indust. Chem. |
| Proceedings National Open-Hearth Committee | Proc. Nat. O-H Comm. | Industrial and Engineering Chemistry | Indust. Eng. Chem. |
| Proceedings Symposia Series | Proc. Symposia Series | Iron Age | Iron Age |
| American Iron and Steel Institute Annual Statistical Report | Amer. Iron Steel Inst. Ann. Stat. Rep. | Iron and Steel | Iron Steel (U.K.) |
| Contributions to the Metallurgy of Steel | Contrib. Met. Steel | Iron and Steel Institute, Special Reports | Iron Steel Inst. Spec. Rep. |
| Steel Products Manual | Steel Prod. Man. | Journal of the American Ceramic Society | J. Amer. Ceram. Soc. |
| American Journal of Physics | Amer. J. Phys. | Journal of the American Chemical Society | J. Amer. Chem. Soc. |
| American Journal of Science | Amer. J. Sci. | Journal of the American Society of Naval Engineers | J. Amer. Soc. Nav. Eng. |
| American Society for Metals Preprint | Amer. Soc. Metals Preprint | Journal of Applied Chemistry | J. Appl. Chem. |
| Review of Metal Literature | Review | Journal of Applied Mechanics | J. Appl. Mech. |
| American Society for Testing Materials | ASTM | Journal of Applied Physics | J. Appl. Phys. |
| Bulletin | Bulletin | Journal of The Australian Institute of Metals | J. Aus. Inst. Metals |
| Preprint | Preprint | Journal of Chemical Physics | J. Chem. Phys. |
| Special Technical Publication | Special Publ. | Journal of the Chemical Society | J. Chem. Soc. |
| Analyst | Analyst | Journal de Chimie Physique | J. Chim. Phys. |
| Analytica Chemica Acta | Anal. Acta | Journal of the Electrochemical Society | J. Electrochem. Soc. |
| Analytical Chemistry | Analyt. Chem. | Journal of Electron Microscopy | J. Electron Microsc. |
| Annalen der Physik | Ann. Physik | Journal of the Franklin Institute | J. Franklin Inst. |
| Annales des Mines | Ann. Mines | Journal of the Institute of Fuel | J. Inst. Fuel |
| Applied Scientific Research | Appl. Sci. Res. | Journal of the Institute of Metals | J. Inst. Metals |
| Archiv für das Eisenhüttenwesen | Arch. Eisenhüttenw. | Journal of the Institution of Electrical Engineers | J. Inst. Elect. Eng. |
| Atomics | Atomics | Journal of the Institution of Production Engineers | J. Inst. Prod. Eng. |
| Australian Journal of Applied Science | Aus. J. Appl. Sci. | Journal of the Iron and Steel Institute | J. Iron Steel Inst. |
| Australian Journal of Chemistry | Aus. J. Chem. | Journal of the Less-Common Metals | J. Less-Common Metals |
| Australian Journal of Physics | Aus. J. Phys. | Journal of Mechanical Laboratory | J. Mech. Lab. |
| Blast Furnace and Steel Plant | Blast Furn. Steel Pl. | Journal of the Mechanics and Physics of Solids | J. Mech. Phys. Solids |
| British Iron and Steel Research Association, Reports | Brit. Iron Steel Res. Assoc. Rep. | Journal of Metals | J. Metals |
| British Journal of Applied Physics | Brit. J. Appl. Phys. | Journal of Nuclear Materials | J. Nucl. Mat. |
| British Standard Institution | Brit. Stand. Inst. | Journal of the Physical Society of Japan | J. Phys. Soc. Japan |
| British Standards Handbook | B. S. Handb. | Journal of Physics | J. Phys. |
| Specifications for Aircraft Materials | Specif. Aircraft Mat. | Journal of the Physics and Chemistry of Solids | J. Phys. Chem. Solids |
| British Welding Journal | Brit. Weld. J. | Journal de Physique et le Radium | J. Phys. Radium |
| Bulletin American Physical Society | Bull. Amer. Phys. Soc. | Journal of Research of the National Bureau of Standards | J. Res. Nat. Bur. Stand. |
| Bulletin Canadian Institute of Mining and Metallurgy | Bull. Can. Inst. Min. Met. | Journal of Scientific Instruments | J. Sci. Instrum. |
| Canadian Journal of Chemistry | Can. J. Chem. | Light Metals | Light Metals |
| Canadian Journal of Physics | Can. J. Phys. | Light Metals Age | Light Metals Age |
| Canadian Journal of Technology | Can. J. Technol. | Memoires Scientifique de la Revue de Metallurgie | Mem. Sci. Rev. Met. |
| Comptes Rendus Hebdomadaires des Seances de l'Academie des Sciences | Compt. Rend. | Metal Age | Metal Age |
| Corrosion | Corrosion | Metal Bulletin | Metal Bull. |
| Corrosion et Anti-Corrosion | Corros. Anti-Corros. | Metal Finishing | Metal Finishing |
| Corrosion Technology | Corros. Technol. | Metal Finishing Journal | Metal Finishing J. |
| Discussions of the Faraday Society | Disc. Farad. Soc. | Metal Industry | Metal Ind. |
| Doklady Akademi Nauk S.S.S.R. | Doklady Akad. Nauk S.S.S.R. | Metal Progress | Metal Prog. |
| Electrical Journal | Elect. J. | Metal Treating | Metal Treatg. |
| Electrical Review | Elect. Rev. | Metal Treatment and Drop Forging | Metal Treat. Drop Forg. |
| Electronic Engineering | Electronic Eng. | Metall | Metall |
| Electroplating and Metal Finishing | Electroplating Metal Finishing | Metalloberfläche | Metalloberfläche |
| | | Metallurg | Metallurg |

| 雜誌名 | 略記 | 雜誌名 | 略記 |
|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| Metallurgia | Metallurgia | Transactions of the American Society of Mechanical Engineers | Trans. Amer. Soc. Mech. Eng. |
| Metallurgia Italiana | Metallurgia Ital. | Transactions of the American Society for Metals | Trans. Amer. Soc. Metals |
| Metallurgical Review | Met. Rev. | Transactions of the Australian Institute of Metals | Trans. Aus. Inst. Met. |
| Metals Review | Metals Rev. | Transactions of the British Ceramic Society | Trans. Brit. Ceram. Soc. |
| Mitteilungen aus dem Max-Planck Institut für Eisenforschung | Mitt. Max-Planck Inst. Eisenforsch. | Transactions of the Canadian Institute of Mining and Metallurgy | Trans. Can. Inst. Min. Met. |
| Nature | Nature | Transactions of the Electrochemical Society | Trans. Electrochem. Soc. |
| Naturwissenschaften | Naturwissenschaften | Transactions of the Faraday Society | Trans. Faraday Soc. |
| Neue Hütte | Neue Hütte | Transactions of The Institute of Metal Finishing | Trans. Inst. Met. Finishing |
| Non-Destructive Testing | Non-Destruct. Test. | Transactions of the Institution of Chemical Engineers | Trans. Inst. Chem. Eng. |
| Philosophical Magazine | Phil. Mag. | Transactions of the Institution of Mining and Metallurgy | Trans. Inst. Min. Metall. |
| Philosophical Transaction of the Royal Society | Phil. Trans. Roy. Soc. | Transactions of The Iron and Steel Institute of Japan | Trans. ISIJ |
| Physica | Physica | Transactions of the Metallurgical Society of AIME | Trans. Met. Soc. AIME |
| Physical Review | Phys. Rev. | Transactions of the Royal Society of Canada | Trans. Roy. Soc. Can. |
| Powder Metallurgy Bulletin | Powder Met. Bull. | United States Bureau of Mines Bulletin | U. S. Bur. Mines Bull. |
| Proceedings of the American Society for Testing Materials | Proc. ASTM. | Information Circular | Inf. Circ. |
| Proceedings, Australasian Institute of Mining and Metallurgy | Proc. Aus. Inst. Min. Met. | Mineral Industry Survey | Min. Ind. |
| Proceedings of the Institution of Electrical Engineers | Proc. Inst. Elect. Eng. | Minerals Yearbook | Min. Yearbook |
| Proceedings, Institution of Mechanical Engineers | Proc. Inst. Mech. Eng. | Reports of Investigations | Rep. Invest. |
| Proceedings of the Japan Academy | Proc. Japan Acad. | Verein deutscher Ingenieure Zeitschrift | VDI-Zschft. |
| Proceedings, Metal Powder Association | Proc. Metal Powder Assoc. | Welding Journal | Welding J. |
| Proceedings of the Physical Society | Proc. Phys. Soc. (U.K.) | Welding and Metal Fabrication | Weld. Metal Fab. |
| Proceedings of the Royal Canadian Institute | Proc. Roy. Can. Inst. | Werkstoffe und Korrosion | Werkstoffe Korrosion |
| Proceedings of the Royal Institution of Great Britain | Proc. Roy. Inst. | Wire and Wire Products | Wire and Wire Products |
| Proceedings of the Royal Society | Proc. Roy. Soc. | Yearbook of the American Iron and Steel Institute | Yearbook Amer. Iron Steel Inst. |
| Proceedings of the Society of Experimental Stress Analysis | Proc. Soc. Exper. Stress Anal. | Yearly Proceedings of the Association of Iron and steel Engineers | Yearly Proc. Assoc. Iron Steel Eng. |
| Review of Scientific Instruments | Rev. Sci. Inst. | Zeitschrift für Elektrochemie | Z. Elektrochem. |
| Reviews of Modern Physics | Rev. Mod. Phys. | Zeitschrift für Erzbergbau und Metallhüttenwesen | Z. Erz. Met. |
| Revue de l'Aluminium | Rev. Aluminium | Zeitschrift für Metallkunde | Z. Metallk. |
| Revue de Metallurgie | Rev. Metall. | Zeitschrift für Physik | Z. Phys. |
| S. A. E. Journal | S. A. E. J. | Zeitschrift für Physikalische Chemie | Z. Phys. Chem. |
| Science Abstracts | Sci. Abs. | Zeitschrift für wissenschaftliche Mikroskopie und für Mikroskopische Technik | Z. wiss. Mikrosk. |
| Sheet Metal Industries | Sheet Metal Ind. | Zhurnal Fizicheskoi Khimii | Zhur. Fiz. Khim. |
| Solid State Physics | Solid St. Phys. | Zhurnal Tekhnicheskoi Fiziki | Zhur. Tekn. Fiz. |
| Stahl und Eisen | Stahl u. Eisen | | |
| Stal' | Stal' | | |
| Steel | Steel | | |
| Steel Processing | Steel Processing | | |
| Steel Review | Steel Rev. | | |
| Transactions of the American Foundrymen's Society | Trans. Amer. Found. Soc. | | |
| Transactions of the American Institute of Electrical Engineers | Trans. Amer. Inst. Elect. Eng. | | |
| Transactions of the American Institute of Mining, Metallurgical and Petroleum Engineers | Trans. AIME | | |

第4表 かながきの例

| 可 | 不可 | 可 | 不可 | 可 | 不可 | 可 | 不可 |
|--------|---------|--------|------------|--------|---------|---------|------------|
| 明らか | 明か | かりに | 仮に | それぞれ | 夫々 | ほかに | 外に, 他に |
| あたかも | 恰も | きわめて | 極めて | ただ | 唯 | ほとんど | 始ど |
| 扱う | 扱かう | ……くらい | ……位 | ただし | 但し | ほど | 程 |
| あらかじめ | 予め | ここ | 此所, 茲 | たとえば | 例えば | ほぼ | 略々 |
| 表わす | 表す | ……こと | ……事 | ため | 為 | ますます | 益々 |
| ある | 在る, 有る | 異なる | 異なる | だいたい | 大体 | また | 又, 亦 |
| あるいは | 或は | ことに | 殊に | ちなみに | 因みに | まだ | 未だ |
| (と)いう | (と)言う | これ, この | 之, 此の | ちょうど | 丁度 | まちがい | 間違い |
| いかなる | 如何なる | ごとく | 如く | ついて | 就て, 付いて | まで | 迄 |
| いずれ | 何れ, いづれ | ごとに | 毎に | ついに | 遂に | みなす | 見做す |
| いつそう | 一層 | さしつかえ | 差支へ | (の)とおり | (の)通り | (して)みる | (して)見る |
| (して) | (して) | ささえる | 支える | (する)とき | (する)時 | 向かう | 向う |
| いただく | 頂く, 載く | しかし | 併し, 然し | ……ところ | ……所, 処 | 明りよう | 明瞭 |
| いつたん | 一旦 | しかも | 而も, 然も | 伴う | 伴なう | もし | 若し |
| (して)いる | (して)居る | したがって | 従て…… | ともに | 共に | もちろん | 勿論 |
| いわゆる | 所謂 | ……に従う | …にしたがう | ないし | 乃至 | …(し)やすい | …(し)易い |
| おいて | 於て | しだいに | 次第に | なお | 尚, 猶 | やはり | 矢張り |
| おせい | 遅い | しばしば | 屢々 | なぜ | 何故 | やや | 稍 |
| 遅れる | おくれる | ……しまう | …了う, 終う | など, ら | 等 | ゆえに | 故に |
| おのおの | 各々 | 十分に | 充分に | ならびに | 並びに | ようす | 様子 |
| おもな | 主な | 少ない | 少い | なるべく | 成可く | ように | 様に |
| および | 及び | すなわち | 即ち, 則ち | はなはだ | 甚だ | ようやく | 漸く |
| かえつて | 却て | すべて | 総て, 全て, 凡て | ページ | 頁 | わかる | 判る, 分る, 解る |
| かかわらず | 拘ず | ずつ | 宛, づゝ | ほう(の) | 方(の) | わたつて | 亙つて |
| かつ | 且 | その | 其の | | | | |
| かなり | 可成 | | | | | | |

日本鉄鋼協会行事案内

| 開催月日 | 行事(カッコ内は開催地) | 申込 | 主催名 | 掲載ページ |
|-----------------------------------|--|----|----------------|----------------------|
| 10月21日 25日 | 溶鉄、溶滓の物性に関する討論会(東京) 九州支部学術講演会(福岡) | | 主催 支部共催 | N136 11号 N124 |
| 11月2日、3日、4日 16日、17日 17日、18日 | 第10回自動制御連合講演会(大阪) 第11回日本鉄鋼協会技術講座(東京) 第18回塑性加工連合講演会(東京) | | 参加 主催 共催 | N138 N135 N137 |

特別講演会のお知らせ

— 11月17日(金) 14:30~16:30 —

本会では、上記ご案内の第11回技術講座に際し、昭和39年4月から41年4月まで日本鉄鋼協会の副会長を勤められた、前東京工業大学教授作井誠太氏に、下記のごとく、ご講演をお願いすることになりました。

作井教授は、長年にわたり金属材料の衝撃変形の研究を続けられ、昭和39年には、俵論文賞も受賞されております。今回、その研究生生活を回顧し、ご講演いただくことは会員各位にも裨益するところ大であると信じ、多数ご来聴下さいますようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和42年11月17日(金) 14:30~16:30
2. 会 場 大和証券ホール
(技術講座に引き続いて行ないます)
3. 講演題目 鉄鋼の急熱と衝撃
一研究の思い出一
4. 講演者 電機通信大学教授(前東京工業大学教授 作井 誠太君)

第11回技術講座開催のお知らせ

— 11月16日・17日 —

本会では会員各位をはじめ関係各位のご要望により、鉄鋼の製造、研究に従事する人々が常識として把握しなくてはならないテーマをとりあげ、それぞれの権威者から最近の動向、発展の方向についてお話し願ひ、討論を行なうために技術講座を開催してまいりました。

第11回技術講座は「鋼の高温強度特性」をテーマにとりあげ、下記演題をもとに講師にご講演をお願いすることになりました。(聴講無料)

記

1. 日 時 昭和42年11月16日(木)、17日(金)
2. 場 所 大和証券ホール 東京都中央区八重洲1-2-4
(国鉄東京駅八重洲北口下車徒歩5分)
(地下鉄=日本橋、都電=呉服橋下車) 呉服橋交差点角
4. プログラム 一鋼の高温強度特性一
 - 第1日(11月16日 9:30~17:00)
 - 9:30 非定常条件下における鋼のクリープおよび高温引張特性 京都大学 平 修 二君
 - 13:00 鋼のクリープ特性について 金属材料技術研究所 河 田 和 美君
 - 第2日(11月17日 9:30~15:30)
 - 9:30 鋼の熱間ねじり特性について 日本鋼管(株)技術研究所 両 角 不二雄君
 - 13:00 鋼の熱間脆性について 八幡製鉄(株)技術研究所 権 藤 永君

溶鉄, 溶滓の物性に関する討論会 (第2回) のお知らせ

—溶鉄, 溶滓における拡散および界面現象—

日本鉄鋼協会, 日本金属学会, 日本学術振興会合同の鉄鋼基礎共同研究会溶鋼溶滓部会では, 上記テーマに関し研究の現状, 問題点などにつき下記により討論会を開催いたします。振つてご参加下さるようご案内いたします。

記

| | | | |
|-----|---|-----|--------|
| 日 時 | 昭和42年10月21日(土) 10:00~16:00 | | |
| 会 場 | 東京神田学士会館 (東京都千代田区神田錦町3-28 Tel. 03-292-5931) | | |
| 講 演 | 1. 溶融体の拡散 | 北大理 | 丹羽貴知蔵君 |
| | 2. 溶鉄スラグ中における拡散 | 九大工 | 川合 保治君 |
| | 3. 特別講演「界面現象について」 | | |
| | 4. 溶鉄合金と溶融スラグ間の界面張力について | 阪大工 | 足立 彰君 |
| | 5. 液体金属とスラグの表面張力 | 名大工 | 佐野 幸吉君 |

鉄鋼基礎共同研究会 微量元素部会

鋼中バナジウム研究参加者募集

題記研究会では鉄鋼への微量元素の影響として Nb にひき続き昭和43年度よりバナジウムを採り上げ, 研究参加者を募ることになりました。

どの点を研究対象にするかは各自参加者の自由です。(研究例を下に示します)

参加希望者は下記要領によりお申し込み下さい。

記

1. 申込方法 適当用紙に氏名, 所属職名, 連絡先, ならびに行なおうとする研究テーマを記入の上, 下記宛お申し込み下さい。
2. 申込締切 昭和 42 年 12 月 15 日 (金)
3. 申 込 先 仙台市片平丁 東北大学金属材料研究所 今井勇之進宛
4. 参加条件 (1) 毎年必ず報告を出すこと (未完のものも含む)
(2) 報告会への旅費は支給しない (但し発表会はなるべく学協会の春秋大会の折にあわせて行なう)
5. Vに関する研究対象内容例
 1. 金属学的基礎データ
 - (1) Vの各種化合物に関する金相学のおよび熱力学的データ
 - (2) Vの各種化合物のオーステナイトおよびフェライトへの溶解度の検討ならびに随伴元素の影響
 - (7) 各種脆性とくに低温脆性におよぼす影響ならびに熱処理との関係
 - (8) 清浄度におよぼす影響
 - (9) 溶接性におよぼす影響
 - (10) 高温の性質に関する検討
 2. 鋼材の諸性質におよぼす影響
 - (1) Vの存在形態による強化寄与の検討
 - (2) 固溶型, 析出物型 (Coherent, incoherent)
 - (3) 結晶粒度微細化の機構
 - (4) 衝撃値, 疲労値におよぼす影響
 - (5) 降伏比向上の範囲と起因について
 - (6) 加工性とくに圧延, 深絞り性におよぼす影響
 - (7) 耐食性に関する検討
 - (11) 製造因子
 - (1) 製造因子に関する検討 (圧延温度, 圧延量, 冷却速度など)
 - (2) 添加法と歩留り向上についての検討
 - (3) Slag 中の形態
 - (4) 偏析とその除去
 3. 製造因子
 - (1) 製造因子に関する検討 (圧延温度, 圧延量, 冷却速度など)
 - (2) 添加法と歩留り向上についての検討
 - (3) Slag 中の形態
 - (4) 偏析とその除去
 4. その他

学協会記事

第18回塑性加工連合講演会

| | | | |
|---------|---|------|---------------|
| 共 催 | 軽金属学会・高分子学会・精機学会・日本機械学会・日本金属学会 日本材料学会・日本伸銅協会・日本塑性加工学会・日本鉄鋼協会 | | |
| 日 時 | 昭和42年11月17日(金), 18日(土) 9:00~ | | |
| 会 場 | 日本都市センター本館講堂・別館講堂 (東京都千代田区平河町 2-6, Tel. 265-8211) | | |
| 講 演 | 第1日(11月17日) 第1会場(本館講堂) | 東工大 | 神馬 敬, ほか 21件 |
| | 広延薄板の深絞りにおけるみみの研究 | | |
| | 第2会場(別館講堂) | 静岡大工 | 近藤 一義, ほか 21件 |
| | せん断加工における平滑面形成機構 | | |
| | 第2日(11月18日) 第1会場 | 住金中研 | 岡本 豊彦, ほか 42件 |
| | 薄鋼板の変形能についての検討 | | |
| | 第2会場 | 鋼管技研 | 鎌田 正誠, ほか 41件 |
| | 圧延機剛性率と薄板製品形状の関係について | | |
| 講演論文集 | 1100円(オフセット印刷, 約 336 ページ) | | |
| 申込締切 | 昭和42年10月28日(土) | | |
| 申 込 先 | 日本機械学会(東京都港区赤坂 4-1-24 Tel. 582-6911) | | |
| 申 込 方 法 | 「第18回塑性加工連合講演会講演論文集申込み」と題記, (1) 希望部数, (2) 送金額, (3) 申込者の氏名, (4) 通信先を明記のうえ, 代金を添えて申し込んで下さい。 | | |
| 討論受付 | 討論は 3~5 題目ごとにまとめて行ないます。討論提出希望者はその要旨を複写可能用紙に記入, 下記により機械学会宛お申し込み下さい。 | | |
| 提出締切 | 昭和42年11月6日(月) | | |
| 記入項目 | 「第18回塑性加工」討論提出, (1) 講演番号・講演者氏名, (2) 討論提出者の氏名, 勤務先, 通信先, (3) 討論・質問の要旨, (4) 講演会当日の出欠 | | |

第4回X線材料強度に関する討論会講演募集

—材料強度のX線的研究とそれに用いられるX線回折の原理, 方法, 技術—

| | |
|--------|------------------------------|
| 主 催 | 日本材料学会 |
| 協 賛 | 日本鉄鋼協会ほか3学協会 |
| 期 日 | 昭和42年11月24日(金), 25(土) |
| 会 場 | 山口大学工学部 (宇部市常盤台) |
| | 第1日(11月24日) 10:00~18:00 討論会 |
| | 第2日(11月25日) 11:00~ バスツア(秋芳洞) |
| 講演申込締切 | 昭和42年9月25日(月) |
| 前刷原稿締切 | 昭和42年10月10日(火) |
| 参加申込締切 | 昭和42年11月15日(水) |

講演発表申込者は, 講演題目, 発表者氏名, 所属, 連絡先明記のこと, また討論会参加希望者も氏名, 所属, 連絡先明記のこと。

申 込 先 日本材料学会討論会係 (京都市左京区吉田泉殿町 1-101 Tel. 76-5321)

第 10 回自動制御連合講演会

| | |
|---|--|
| <p>主催学協会 化学工学協会, 計測自動制御学会, 中部自動制御研究会, 日本機械学会, 日本自動制御協会, 日本繊維機械学会</p> <p>参加学協会 日本鉄鋼協会, ほか 4 学協会</p> <p>幹事学協会 日本自動制御協会 京都市左京区山端一丁目 1 番地 京都大学工学研究所修学院分室内 Tel 075-78-6125, 79-1094)</p> <p>開催期日 昭和42年11月2日(木)~4日(土)</p> <p>会場 大阪大学工学部 (大阪市都島区東野田九丁目)</p> <p>講演 第1日(11月2日)</p> <p>第1室 適応制御過程における制御性能の上下限について, ほか 15 件</p> <p>第2室 合成された変係数線形システムの可制御, ほか 15 件</p> <p>第3室 MOS-FET チョップ直流増幅器, ほか 16 件</p> | <p>第4室 純流体素子による心臓補助循環系の研究, ほか 16 件 第2日(11月3日)</p> <p>第1室 むだ時間系の最適制御, ほか 16 件</p> <p>第2室 エントロピー感度について, ほか 14 件</p> <p>第3室 HITAC 7250 プロセス入出力装置, ほか 16 件</p> <p>第4室 化学反応プロセスのシステムデザインとコントロール1, ほか 15 件 第3日(11月4日)</p> <p>第1室 計算機制御系における評価関数とサンプリング周期について, ほか 12 件</p> <p>第2室 マルコフ過程の観測と制御, ほか 10 件</p> <p>第3室 最適制御理論による自動飛行装置の設計法について, ほか 8 件</p> <p>第4室 車輛検出器郡の自動測定について, ほか 8 件</p> |
|---|--|

たたら研究会10周年記念講演会プログラム

| | |
|---|---|
| <p>期 日 昭和42年10月27日(金) 午後1時半</p> <p>場 所 鉄鋼会館(日本橋茅場町)</p> <p>挨拶 会長 鈴峯短大教授 向井義郎</p> <p>演題と講師 東西文化交流と製鉄 鉱物組成からみた現代製鉄とたたら製鉄</p> <p>たたら関係映画上映 たたらへの復興とその課題 南関東の古代鉄器とその製造</p> <p>主催 たたら研究会関東支部</p> <p>後援 特殊鋼倶楽部・日本鉄鋼協会</p> | <p>北里大学教授 立川 昭二 東京大学助教授 添 秀雄 八幡製鉄東研 佐々木 稔 日立金属株式会社 日立金属 小塚 寿吉 資源研究所工学博士 長谷川熊彦</p> |
|---|---|

第21回塑性加工シンポジウム

—摩擦と潤滑—

| | |
|--------------|---|
| 主 催 | 日本塑性加工学会 |
| 協 賛 | 日本鉄鋼協会ほか 6 学協会 |
| 日 時 | 昭和42年11月16日(木) 9:30~17:00 |
| 場 所 | 日本規格協会ビル (東京都港区赤坂 4-1-24) |
| 講 演 | 塑性加工における潤滑機構について ほか 5 件 |
| テキスト代 | 会員 1000 円, 非会員 2000 円 |
| 申込締切 | 昭和42年11月10日(金) |
| 申 込 先 | 東京都港区六本木 7-22-1 東京大学生産技術研究所内 (社)日本塑性加工学会 |

第5回トップ・マネジメント品質管理大会

—重点テーマ：世界に伸びよう品質で—

会 期 昭和42年11月7日(火) 11:30~17:30
 会 場 経団連ビル (東京・大手町)
 プログラム 特別講演会, パネル討論会
 連絡先 東京都渋谷区千駄谷 5-10
 (財)日本科学技術連盟総務部 Tel. 341-5221, 356-2711

第6回職・組長品質管理大会

—重点テーマ：まず現場を固めよう—

会 期 昭和42年11月13日(月)~15日(水)
 会 場 産経会館, 農協ビル, 日経ビル (東京・大手町)
 プログラム 第1日 (9:05~17:00) 基調講演, 特別講演, 体験談報告講演
 第2日 (9:00~19:00) 体験談報告講演
 第3日 (10:00~16:00) 工場見学会
 連絡先 東京都渋谷区千駄谷 5-10
 (財)日本科学技術連盟総務部 Tel. 341-5221, 356-2711

第17回品質管理大会

—重点テーマ：世界に伸びよう品質で—

会 期 昭和42年11月8日(水)~11日(土)
 会 場 産経会館, 農協ビル, 日経ビル (東京・大手町)
 プログラム 第1日 (9:30~17:00) 基調講演, 特別講演, 研究報告講演
 第2日 (9:00~17:00) 研究報告講演, 分科会討論会
 第3日 (9:00~16:30) デミング賞受賞者報告講演会, 総合討論会
 第4日 (9:00~16:00) 工場見学会
 連絡先 東京都渋谷区千駄谷 5-10
 (財)日本科学技術連盟総務部 Tel. 341-5221, 356-2711